（様式第 10）

鳥大医療第１６－１号
平成２７年[redacted]

厚生労働大臣　　殿

鳥取大学医学部附属病院[redacted]
病院長　清水　英[redacted]

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成２６年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒680-8550　鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏　　名	国立大学法人　鳥取大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

鳥取大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒683-8504
鳥取県米子市西町36番地の1　　電話(0859)33－1111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	㊒・無
内科と組み合わせた診療科名等 1呼吸器内科　2消化器内科　3循環器内科　4腎臓内科　5神経内科　6血液内科 7内分泌代謝内科　8感染症内科　9アレルギー科　10リウマチ科　11　12	
診療実績	

（注）1　「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
（注）2　「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。
（注）3　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2)外科

外科	有 ・ (無)
外科と組み合わせた診療科名 1消化器外科　2乳腺内分泌外科　3心臓血管外科　4小児外科　5ペインクリニック外科 6　7　8　9　10	
診療実績	

(注) 1　「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科　(2)小児科　(3)整形外科　(4)脳神経外科　(5)皮膚科　(6)泌尿器科　(7)産婦人科 8産科　9婦人科　(10)眼科　(11)耳鼻咽喉科　(12)放射線科　13放射線診断科 (14)放射線治療科　(15)麻酔科　(16)救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科　2　3　4　5　6　7	
歯科の診療体制 本院は歯科医師を有する特定機能病院である。	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1膠原病内科　2胸部外科　3頭頸部外科　4薬物療法内科　5形成外科　6脳神経小児科 7病理診断科　8神経病理診断科　9リハビリテーション科　10　11 12　13　14　15　16

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
４０　床	２　床	６　床	０　床	６４９　床	６９７　床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

（平成２７年１０月　１日現在）

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種	員　数
医　師	310人	66人	358.2人	看護補助者	52人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	13人	3人	15.0人	理学療法士	15人	臨床検査技師	48人
薬剤師	45人	0人	45.0人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	39人	1人	39.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	688人	9人	694.9人	臨床工学士	17人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	1人	0.5人	栄養士	1人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	3人	1人	4.0人	歯科技工士	2人	事務職員	226人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	55人

（注）1　申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

（平成２７年１０月　１日現在）

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	２６人	眼科専門医	１５人
外科専門医	３６人	耳鼻咽喉科専門医	１２人
精神科専門医	５人	放射線科専門医	１７人
小児科専門医	３３人	脳神経外科専門医	７人
皮膚科専門医	６人	整形外科専門医	１５人
泌尿器科専門医	７人	麻酔科専門医	１３人
産婦人科専門医	１４人	救急科専門医	２人
		合　計	２０８人

（注）　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下１位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合　計
１日当たり平均入院患者数	５６２．２人	１１．３人	５７３．５人
１日当たり平均外来患者数	１，３６１．８人	７８．１人	１，４３９．９人
１日当たり平均調剤数	入院：８４８．３剤、外来：２５２．４剤		
必要医師数	１３９人		
必要歯科医師数	５人		
必要薬剤師数	１４人		
必要（准）看護師数	３３６人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

9　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1112 m²	鉄筋コンクリート	病床数	３０床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　３２１ m² ［移動式の場合］　台数　２０台		病床数　２６床			
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床積　２８ m² ［共用室の場合］　共用する室名					
化学検査室	453.2m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）生化学自動分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定装置			
細菌検査室	127.5 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）全自動同定感受性検査装置、血液培養装置、微生物分類同定分析装置			
病理検査室	93.3 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル・スライド方式による遠隔病理画像診断システム			
病理解剖室	27.0 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）病理解剖台			
研究室	5,845 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー等			
講義室	4,06 m²	鉄筋コンクリート	室数　２室		収容定員　３６６人	
図書室	1,634 m²	鉄筋コンクリート	室数　６室		蔵書数６８３，０００冊程度	

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
　　2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日	
紹介率	８３．４％	逆紹介率	７０．９％
算出根拠	Ａ：紹介患者の数	１２，０２７人	
	Ｂ：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	１２，４５９人	
	Ｃ：救急用自動車によって搬入された患者の数	２，６２２人	
	Ｄ：初診の患者の数	１７，５７０人	

（注）1　「紹介率」欄は、Ａ、Ｃの和をＤで除した数に100を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
　　2　「逆紹介率」欄は、ＢをＤで除した数に100を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
　　3　Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0 人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	0 人
前眼部三次元画像解析	43 人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	0 人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法	0 人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	3 人
オクトレオチド皮下注射療法	0 人
内視鏡下手術用ロボットを用いた内視鏡下咽喉頭切除術	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾　患　名	取扱患者数	疾　患　名	取扱患者数
・ベーチェット病	27人	・膿疱性乾癬	1人
・多発性硬化症	36人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	57人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・全身性エリテマトーデス	115人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	19人
・再生不良性貧血	15人	・混合性結合組織病	24人
・サルコイドーシス	76人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・特発性間質性肺炎	18人
・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎	116人	・網膜色素変性症	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	27人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	23人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	50人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	1人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	3人
・天疱瘡	9人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	30人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	25人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	173人	・球脊髄性筋委縮症	3人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・アミロイドーシス	10人	・肥大型心筋症	3人
・後縦靱帯骨化症	39人	・拘束型心筋症	3人
・ハンチントン病	2人	・ミトコンドリア病	3人
・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	18人	・リンパ脈管筋腫症（LAM）	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・重症多形滲出性紅斑（急性期）	1人
・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	67人	・黄色靱帯骨化症	7人
・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）	28人	・間脳下垂体機能障害（PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）	64人
・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人		

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・総合評価加算
・歯科外来診療環境体制加算	・呼吸ケアチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料（一般　・結核7対1、精神15対1）	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算（医科：基幹型、歯科：管理型）	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・救命救急入院料3、4
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1、2
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算（50対1）	・小児入院医料管理料2
・看護補助加算1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1、2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・高度難聴指導管理料	・植込型心電図検査
・糖尿病合併症管理料	・時間内歩行試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料1、2、3	・ヘッドアップティル小試験
・外来緩和ケア管理料	・人工膵臓
・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病透析予防指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・院内トリアージ実施料	・光トポグラフィー
・外来放射線照射診療料	・神経学的検査
・ニコチン依存症管理料	・補聴器適合検査
・地域連携診療計画管理料	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・コンタクトレンズ検査料1
・がん治療連携管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・認知症専門診断管理料	・内服　・点滴誘発試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・センチネルリンパ節生検（単独、併用）
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1、2
・医療機器安全管理料1、2、歯科	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層　・コンピュータ断層複合撮影
・歯科治療総合医療管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・在宅患者訪問看護　・指導料	・冠動脈CT撮影加算
・同一建物居住者訪問看護　・指導料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・心臓MRI撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算Ⅰ、Ⅳ	・無菌製剤処理料
・遺伝カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・内視鏡下鼻　・副鼻腔手術Ⅴ型（拡大副鼻腔手術）
・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・上顎骨形成術（骨移動を伴うものに限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴うものに限る（歯科診療に係るものに限る。）
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、2
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈形成術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的冠動脈ステント留置術
・認知療法　・認知行動療法1	・経皮的大動脈弁置換術
・精神科作業療法	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 （治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療保護入院等診療料	・ペースメーカー移植術　・交換術
・エタノールの局所注入（甲状腺）	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・エタノールの局所注入（副甲状腺）	・両心室ペースメーカー移植術　・交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術　・交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）
・CAD／CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術　・交換術
・歯科技工加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・補助人工心臓
・骨移植術（軟骨移植術を含む。） （自家培養軟骨移植術に限る。）	・植込型補助人工心臓（拍動流型）
・腫瘍脊椎骨全摘術	・植込型補助人工心臓（非拍動流型）
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）　・交換術	・経皮的大動脈遮断術
・脊髄刺激装置植込術　・交換術	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
・治療的角膜切除術（エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。））	・腹腔鏡下小切後腹膜リンパ節群郭清術
・羊膜移植術	・ダメージコントロール手術
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・体外衝撃波胆石破砕術
・網膜再建術	・腹腔鏡下肝切除術
・人工内耳植込術	・生体部分肝移植術
・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導　補聴器交換術	・体外衝撃波膵石破砕術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・外来放射線治療加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・1回線量増加加算
・体外衝撃波腎　・尿管結石破砕術	・強度変調放射線治療（IMRT）
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	・画像誘導放射線治療（IGRT）
・腎腫瘍凝固　・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	・体外照射呼吸性移動対策加算
・生体腎移植術	・直線加速器による定位放射線治療
・腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・膀胱水圧拡張術	・保険医療機関間の連携による病理組織診断
・腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込　・置換術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・クラウンブリッジ維持管理料
・胎児胸腔　・羊水腔シャント術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	・顎口腔機能診断料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	・
・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	・
・輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算	・
・人工肛門　・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年厚生省告示第五十四号）に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年15～20回程度
剖検の状況	剖検症例数 29 例 ／ 剖検 6.0 %

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脳梗塞症罹患後安定期における健康寿命阻害因子の分析と予防法構築のための研究	古和 久典	脳神経内科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非生毛部に生じた悪性黒色腫に対する表皮基底面の走査型電子顕微鏡学的観察	吉田 雄一	皮膚科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群による時計遺伝子を介した分子生物学的影響に関する研究	鰤岡 直人	第三内科診療科群	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ドーパミン神経特異的なαシヌクレイン修飾と新規パーキンソン病治療ターゲット	中曽 一裕	脳神経内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インスリン様成長因子－Ⅰの転写因子と結合蛋白の異常による成長ホルモン不応症の解明	神崎 晋	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知矯正療法の効果に関する神経機能画像を用いた研究	兼子 幸一	精神科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多系統萎縮症の早期診断を目指した基礎的および臨床的研究	小川 敏英	放射線診療科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Vandetanibによるグリオーマ播種病変制御の試み	渡辺 高志	脳神経外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣明細胞腺癌に対するFGFR2を標的とした新規治療法の開発	板持 広明	女性診療科群	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
拡張不全患者におけるカルニチン慢性投与が心機能・骨格筋機能に及ぼす効果の検討	山本 一博	第一内科診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
複数神経栄養因子による生存シグナル増強 －間葉系幹細胞と人工染色体の利用－	渡辺 保裕	脳神経内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インクレチン経路からみた小児メタボリック症候群への新たな介入方法の開発	花木 啓一	小児科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨粗鬆症性骨折の危険因子と予防に関する研究	萩野 浩	リハビリテーション部	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網羅的分子解析によるウイルス性角膜炎の病態解明	井上 幸次	眼科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
拡張性心不全患者における呼吸筋リハビリテーションが運動耐容能に及ぼす影響	衣笠 良治	第一内科診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メルケル細胞癌のMCPyV陽性群と陰性群の発癌機序比較に基づく治療法探索	林 一彦	病理部	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌が早期診断されない原因の解明	岡野 淳一	第二内科診療科群	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症・パーキンソン症候群への進行に関する縦断的地域疫学研究	中島 健二	脳神経内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非アルコール性脂肪肝炎進展に関与するmicroRNAの同定とバイオマーカーの開発	孝田 雅彦	第二内科診療科群	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性胸膜中皮腫のペメトレキセド耐性を克服する新しい治療法の開発	清水 英治	第三内科診療科群	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成長障害の病態解明—新たなアプローチによるGH-IGFs系シグナル異常の解明	鞍嶋 有紀	小児科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微細構造を基盤とした蛋白尿発症機序の解明：低真空走査型電子顕微鏡を用いた解析	岡田 晋一	小児科	2,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ビスフォスフォネート（BP）の顎骨の感染メカニズムの解明	領家 和男	歯科口腔外科	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治てんかん患者の地域包括的支援ネットワークの確立と展開	吉岡 伸一	精神科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管移植併用緑内障手術の開発	金田 周三	眼科	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
頭痛に関する効果的なシミュレーション教育プログラムの構築とその有用性の検証	中野　俊也	脳神経内科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生態学的アプローチからみた地域医療システムの構築	谷口　晋一	第一内科診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
疫学調査に基づく前頭側頭葉変性症の病態解明	足立　正	脳神経内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
EAATを介する中枢性排尿調節メカニズムの包括的解明	引田　克弥	泌尿器科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規超高速PCR法によるウイルス性気道感染症迅速診断法の確立	高田　美也子	第三内科診療科群	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規内視鏡を用いた経尿道的膀胱手術新規技術の確立	森實　修一	泌尿器科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト生体における耳小骨の非侵襲的な振動測定	國本　泰臣	頭頸部診療科群	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
喫煙による精巣上体精子の成熟障害誘発に関する研究	武中　篤	泌尿器科	950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
喫煙による精巣上体精子の成熟障害誘発に関する研究	武中　篤	泌尿器科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉塞性肺疾患におけるビタミンの役割	山崎　章	第三内科診療科群	200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
変異型アミロイドβ蓄積機構の解明	和田　健二	脳神経内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経疾患合併RBDの意義と早期介入に対する検討	野村　哲志	脳神経内科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
黄砂および越境大気汚染の児童健康に対する短期影響と屋外活動リスクの評価	渡部　仁成	第三内科診療科群	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
分子標的薬のPK解析とメタボロミクスを駆使した高精密治療戦略法の構築	島田　美樹	薬剤部	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
拡張不全に対する新たな治療の開発 ー ノックアウトマウスを用いた検討 ー	荻野　和秀	検査部	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規受容体SNSRを介する排尿機能調節機構の解明	本田　正史	泌尿器科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣明細胞腺癌におけるPI3K阻害薬の至適併用療法選択と感受性予測マーカー探索	大石　徹郎	女性診療科群	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
世界標準の地域連携システムを用いた標準化の課題と対策の調査検討	近藤　博史	医療情報部	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
癌性胸腹水癌細胞パルス樹状細胞ワクチンのがん幹細胞に対する治療効果増強の研究	辻谷　俊一	がんセンター	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症合併不妊に対するNFkBを標的とする新規薬物療法の開発	谷口　文紀	女性診療科群	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
可溶性ULPB2制御による新しい敗血症治療法の開発	千酌　浩樹	感染制御部	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
BRONJにおける骨芽細胞の役割の解明	本城　正	歯科口腔外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
広く見え、指のような触覚をもつ内視鏡の開発	植木　賢	次世代高度医療推進センター	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
加齢黄斑変性の戦略的な疾患特異遺伝子探索と治療応用	馬場　高志	眼科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜内皮と線維柱帯は、免疫ネットワーク制御をうけるのか：戦略的病態解明と治療開発	宮崎　大	眼科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
レビー小体型認知症の診断バイオマーカーの探索	中下　聡子	リハビリテーション部	420,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低酸素応答への介入による非脱分極性筋弛緩薬の肺保護効果についての研究	舩木　一美	麻酔診療科群	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
黄砂を含む越境大気汚染物質の長期影響としての発癌性評価	倉井　淳	第三内科診療科群	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ストレスがIL-1βを放出させる機序の解明:うつ病治療の新たなターゲットを探して	岩田　正明	精神科	200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
SEREX法を応用したハイリスク甲状腺腫瘍の血清学的スクリーニング法の開発	伊澤　正一郎	第一内科診療科群	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン病モデル細胞におけるαシヌクレインとSOCE機構の関連についての研究	伊藤　悟	高次集中治療部	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
EGFR核内移行阻害によるDNA損傷修復抑制を標的とした新たな集学的癌治療の確立	牧野　晴彦	第三内科診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オピオイドが腫瘍増殖および生命予後に与える影響の解析	大槻　明広	手術部	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
グルコシルセラミドの腫瘍増殖抑制効果	矢間　敬章	頭頸部診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生体内における超音波せん断波(shear wave)の速度を決定する因子の解明	福原　隆宏	頭頸部診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮下脂肪組織由来幹細胞の作用メカニズムに基づいた新しい乳房再生技術の開発	陶山　淑子	形成外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
2型糖尿病における新規インスリン抵抗性指標の開発	大倉　毅	第一内科診療科群	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Ifチャネルを指標としたヒトES細胞由来ペースメーカ細胞分取と拍動制御機構の解明	森川　久未	次世代高度医療推進センター	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
下半身陽圧負荷装置を用いた歩行運動が下肢痛を有する高齢者の運動機能に及ぼす影響	曽田　武史	リハビリテーション部	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
治療アイデリティと目標設定は認知矯正療法の効果に影響を与えるか	最上　多美子	臨床心理	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
包括的認知症検診プログラムの開発と有効性の検討	竹田　伸也	臨床心理	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
知的障害児入所施設における被虐待児の評価と効果的な支援方法の検討	井上　雅彦	臨床心理	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
LQT1型iPS由来心筋を用いたHsp70による変異チャネル蛋白安定化治療	久留　一郎	第一内科診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
レチノイドによる細胞内分子制御による肝細胞癌の抗癌剤感受性増強効果	汐田　剛史	第二内科診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性および安全性に関する研究	板持広明	女性診療科群	2,100,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
ライソゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究	成田　綾	脳神経小児科	900,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	村上　潤	小児科	200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
危険因子を同定する検診制度導入によるリウマチ制圧プロジェクト	萩野　浩	リハビリテーション部	200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
咽喉頭癌に対する経口的ロボット支援手術の安全性・有効性に関する多施設臨床試験	北野　博也	頭頸部診療科群	#########	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
大規模ゲノム疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明	中島　健二	脳神経内科	3,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
統合失調症に対する認知リハビリテーションの開発と効果検証に関する研究	兼子　幸一	精神科	550,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	中島　健二	脳神経内科	#########	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確立	吉田　雄一	皮膚科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
運動失調症の医療基盤に関する調査研究	中島　健二	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
成育疾患克服等総合研究に関連する研究開発管理の実施・評価に関する研究	神崎　晋	小児科	2,300,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
医療・教育・福祉の連携による行動障害のある児・者への支援方法に関する研究	井上　雅彦	臨床心理	2,407,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金

小計28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新刃先形状をもつ高難度手術を可能にする新規国産医療用ドリルの開発	植木　賢	次世代高度医療推進センター	#########	補 委	厚生労働省 受託研究費
小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究	村上　潤	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
ドラックリポジショニングによる神経線維腫症1型の進行阻止薬の開発	吉田　雄一	皮膚科	1,000,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
慢性ウイルス性肝炎の病態把握(重病度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測)のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	孝田　雅彦	第二内科診療科群	108,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
次世代シークエンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明と治療法開発に関する研究に係る「⑤進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症を含めたタウオパチー、前頭側頭葉変性症にお	中島　健二	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	中島　健二	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
多系統萎縮症の治療法開発研究	中島　健二	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
がん細胞が生成する尿中蛋白質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究	清水　英治	第三内科診療科群	2,000,000	補 委	厚生労働省 受託研究費
大腿骨近位部骨折の健側大腿骨補強手術の開発	萩野　浩	リハビリテーション部	2,500,000	補 委	国立長寿医療研究センター 受託研究費
バイオバンクに提供された検体のオミックス解析情報のデータベース化とインフォマティックスによる疾患関連分子の同定	浦上　克哉	脳神経内科	1,000,000	補 委	国立長寿医療研究センター 受託研究費
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)の有用性に関する研究	兼子　幸一	精神科	1,100,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
脳形成異常を主とする発達期脳障害の病因・病態と治療に関する研究	斉藤　義朗	脳神経小児科	500,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
新生児及び乳幼児の新型喉頭鏡の研究開始	三浦　真澄	総合周産期母子医療センター	910,000	補 委	ちゅうごく産業創造センター 受託研究費
科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究	松本　和也	第二内科診療科群	700,000	補 委	国立がん研究センター 受託研究費
大腸検査の苦痛を解決するための触覚付き先端駆動式全天周内視鏡の開発	植木　賢	次世代高度医療推進センター	4,255,200	補 委	鳥取県産業振興機構 受託研究費
本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究	山本　一博	第一内科診療科群	250,000	補 委	国立循環器病研究センター 受託研究費
在宅用人工呼吸器の開発	鰤岡　直人	第三内科診療科群	2,010,960	補 委	大分県産業創造機構 受託研究費
黄砂、PM2.5の組成別毒性に基づく大気モニタリングと感受性社検査システムの構築	渡部　仁成	第三内科診療科群	#########	補 委	環境省 受託研究費
周産期医療に関わる専門的スタッフの養成	神崎　晋	小児科	#########	補 委	文部科学省
感染症対策特別促進事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	#########	補 委	厚生労働省
がん診療連携拠点病院機能強化事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	#########	補 委	厚生労働省
医師等環境改善事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	4,228,000	補 委	鳥取県
地域医療向上研修会開催支援事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	8,637,000	補 委	鳥取県
認定看護師養成研修受講補助事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	1,719,000	補 委	鳥取県
感染症医療提供体制強化事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	8,760,000	補 委	鳥取県
救急勤務医支援事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	939,000	補 委	鳥取県
がん患者口腔ケア体制整備事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	1,216,000	補 委	鳥取県
結核患者透析治療環境改善施設整備事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	#########	補 委	鳥取県

小計28件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
結核患者透析治療環境改善設備整備事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	2,952,000	補 委	鳥取県
在宅医療連携拠点事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	4,338,000	補 委	鳥取県
ITを活用した地域医療連携ネットワークシステム構築事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	#########	補 委	鳥取県
鳥取県新人看護職員研修事業費	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	1,712,000	補 委	鳥取県
ドクターカー運営事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	2,332,000	補 委	鳥取県
医師事務作業補助者設置支援事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	5,237,000	補 委	鳥取県
病児・病後児等保育施設設備整備・運営事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	6,288,000	補 委	鳥取県
実習指導者養成支援事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	207,000	補 委	鳥取県
認定看護師養成研修事業	病院長 北野　博也	頭頸部診療科群	392,000	補 委	鳥取県

合計118件

（注）1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入するこ

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Tomoko Haruki	視覚病態学	Comparison of toxicities of moxifloxacin, cefuroxime, and levofloxacin to corneal endothelial cells in vitro.	Journal of cataract and refractive surgery
2	Yoshitsugu Inoue	視覚病態学	Review of clinical and basic approaches to corneal endotheliitis.	Cornea
3	Yukimi Yamamoto	視覚病態学	Associations of inflammatory cytokines with choroidal neovascularization in highly myopic eyes.	Retina (Philadelphia, Pa.)
4	Yasuomi Kunimoto	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Sequential multipoint motion of the tympanic membrane measured by laser Doppler vibrometry: preliminary results for normal tympanic membrane.	Otology & neurotology : official publication of the American Otological Society,
5	Kazunori Fujiwara	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Infiltration of the thyroid gland by T-cell prolymphocytic leukemia.	Thyroid : official journal of the American Thyroid Association
6	Hiroaki Yazama	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Dietary glucosylceramides suppress tumor growth in a mouse xenograft model of head and neck squamous cell carcinoma by the inhibition of angiogenesis through an increase in ceramide.	International journal of clinical oncology
7	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Usefulness of chest CT scan for head and neck cancer.	Auris, nasus, larynx
8	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Phantom experiment and clinical utility of quantitative shear wave elastography for differentiating thyroid nodules.	Endocrine journal
9	Masanobu Fujimoto	周産期・小児医学	Clinical overview of nephrogenic diabetes insipidus based on a nationwide survey in Japan.	Yonago acta medica
10	Yuki Kawashima	周産期・小児医学	A rare CYP 21 mutation (p.E431K) induced deactivation of CYP 21A2 and resulted in congenital adrenal hyperplasia.	Endocrine journal
11	Yuki Kawashima	周産期・小児医学	Familial short stature is associated with a novel dominant-negative heterozygous insulin-like growth factor 1 receptor (IGF1R) mutation.	Clinical endocrinology

小計11

12	Hitoshi Sano	周産期・小児医学	Epstein-Barr virus-associated posttransplant lymphoproliferative disorder involving the central nervous system following autologous hematopoietic stem cell transplantation for neuroblastoma.	SpringerPlus
13	Masayuki Hirai	循環器内科	Seasonal changes in systemic volume overload are to be considered--reply.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
14	Masayuki Hirai	循環器内科	Clinical scenario 1 is associated with winter onset of acute heart failure.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
15	Shinji Sakata	小児科	Instability of KCNE1-D85N that causes long QT syndrome: stabilization by verapamil.	Pacing and clinical electrophysiology : PACE
16	Kazuo Maeda	女性診療科	Highly improved perinatal states in Japan.	The journal of obstetrics and gynaecology research
17	Takashi Uegaki	女性診療科	Inhibitor of apoptosis proteins (IAPs) may be effective therapeutic targets for treating endometriosis.	Human reproduction (Oxford, England)
18	Hiroaki Itamochi	女性診療科	Loss of ARID1A expression is associated with poor prognosis in patients with stage I/II clear cell carcinoma of the ovary.	International journal of clinical oncology
19	Imari Deura	女性診療科	Incidence and risk factors for lower limb lymphedema after gynecologic cancer surgery with initiation of periodic complex decongestive physiotherapy.	International journal of clinical oncology
20	Kazunori Uegaki	女性診療科	Outcome of stage IB2-IIB patients with bulky uterine cervical cancer who underwent neoadjuvant chemotherapy followed by radical hysterectomy.	International journal of clinical oncology
21	Tetsuro Oishi	女性診療科	The PI3K/mTOR dual inhibitor NVP-BEZ235 reduces the growth of ovarian clear cell carcinoma.	Oncology reports
22	Seiya Sato	女性診療科	Neoadjuvant chemotherapy in advanced ovarian cancer: latest results and place in therapy.	Therapeutic advances in medical oncology
23	Kazuo Maeda	女性診療科	Modalities of fetal evaluation to detect fetal compromise prior to the development of significant neurological damage.	The journal of obstetrics and gynaecology research
24	Koji Endo	運動器医学	Sacral chordoma in an adult showing an aggressive clinical course: A case report.	Oncology letters

小計13

25	Shohei Takasugi	画像診断治療学	Coil embolization with side-holed catheter to preserve peripheral flow for visceral artery pseudoaneurysm: an experimental study in Swine.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR
26	Shuichi Yamamoto	画像診断治療学	Thermal influence of radiofrequency ablation for bone: an experimental study in normal rabbit bone.	Skeletal radiology
27	Yuki Shinohara	画像診断治療学	Usefulness of monochromatic imaging with metal artifact reduction software for computed tomography angiography after intracranial aneurysm coil embolization.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987)
28	Takeru Fukunaga	画像診断治療学	Accuracy of semiquantitative dynamic contrast-enhanced MRI for differentiating type II from type I endometrial carcinoma.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
29	Chie Inoue	画像診断治療学	Correlation of apparent diffusion coefficient value with prognostic parameters of endometrioid carcinoma.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
30	Chie Inoue	画像診断治療学	Apparent diffusion coefficient (ADC) measurement in endometrial carcinoma: effect of region of interest methods on ADC values.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
31	Shinya Fujii	画像診断治療学	MR imaging of locally advanced low rectal cancer: Relationships between imaging findings and the pathological tumor regression grade.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
32	Shinya Fujii	画像診断治療学	Subendometrial enhancement and peritumoral enhancement for assessing endometrial cancer on dynamic contrast enhanced MR imaging.	European journal of radiology
33	Shinya Fujii	画像診断治療学	Peritumoral enhancement in endometrial cancer on dynamic contrast-enhanced imaging: radiologic-pathologic correlation.	The journal of obstetrics and gynaecology research
34	Keita Kuya	画像診断治療学	CT angiography after carotid artery stenting: assessment of the utility of adaptive statistical iterative reconstruction and model-based iterative reconstruction.	Neuroradiology
35	Takeshi Onohara	器官再生外科学	Two cases of thoracic aortic aneurysm with right aortic arch: comparison of two operative strategies for hybrid thoracic endovascular repair.	Annals of vascular diseases
36	Yuki Otsuki	器官再生外科学	Adipose stem cell sheets improved cardiac function in the rat myocardial infarction, but did not alter cardiac contractile responses to β-adrenergic stimulation.	Biomedical research (Tokyo, Japan)
37	Manabu Kishina	機能病態内科学	Therapeutic effects of the direct renin inhibitor, aliskiren, on non-alcoholic steatohepatitis in fatty liver Shionogi ob/ob male mice.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology

小計13

38	Kenichi Miyoshi	機能病態内科学	Association between gene polymorphisms of connective tissue growth factor and the progression of chronic liver disease associated with hepatitis C.	Internal medicine (Tokyo, Japan)
39	Manabu Kishina	機能病態内科学	Usefulness of contrast-enhanced ultrasound with Sonazoid for evaluating liver abscess in comparison with conventional B-mode ultrasound.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology
40	Kazuya Matsumoto	消化器内科	Late complications of self-expandable metallic stent placement for malignant gastric outlet obstruction.	Internal medicine (Tokyo, Japan)
41	Kunio Araki	胸部外科学	Excellent prognosis of lepidic-predominant lung adenocarcinoma: low incidence of lymphatic vessel invasion as a key factor.	Anticancer research
42	Yoshinobu Nakamura	心臓血管外科	A missing leaflet: a rare cause of structural deterioration of a bovine pericardial aortic bioprosthesis-report of a case.	Surgery today
43	Masashi Honda	腎泌尿器学	Effects of sensory neuron-specific receptor agonist on bladder function in a rat model of cystitis induced by cyclophosphamide.	International urology and nephrology
44	Hideto Iwamoto	腎泌尿器学	The Efficacy of Target Biopsy of Suspected Cancer Lesions Detected by Magnetic Resonance Imaging and/or Transrectal Ultrasonography during Initial Prostate Biopsies: Comparison of Outcomes	Yonago acta medica
45	Kat Suya Hikita	腎泌尿器学	Comparison of the overactive bladder symptom score and the overactive bladder symptom score derived from the bladder diaries.	Neurourology and urodynamics
46	Tadahiro Isoyama	腎泌尿器学	Hydronephrosis after retroperitoneal laparoscopic dismembered Anderson-Hynes pyeloplasty in adult patients with ureteropelvic junction obstruction: A longitudinal analysis.	Central European journal of urology
47	T Sejima	腎泌尿器学	Initial evidence demonstrating the association between the vascular status in surgically resected renal parenchymal pathology and sexual function.	International journal of impotence research
48	Takehiro Sejima	腎泌尿器学	Renal parenchymal histopathology predicts life-threatening chronic kidney disease as a result of radical nephrectomy.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological
49	Akihisa Yao	腎泌尿器学	Anatomical dimensions using preoperative magnetic resonance imaging: impact on the learning curve of robot-assisted laparoscopic prostatectomy.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological
50	Akihisa Yao	腎泌尿器学	The role of staging MRI in predicting apical margin positivity for robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy.	Urologia internationalis

小計13

51	Tetsuya Yumioka	腎泌尿器学	Robot-assisted radical prostatectomy in an initial Japanese series: the impact of prior abdominal surgery on surgical outcomes.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological
52	Shenghong Pu	精神行動医学	Prefrontal activation predicts social functioning improvement after initial treatment in late-onset depression.	Journal of psychiatric research
53	Shenghong Pu	精神行動医学	Association between social functioning and prefrontal hemodynamic responses in elderly adults.	Behavioural brain research
54	Katsutoshi Yokoyama	精神行動医学	Relationship between hypothalamic-pituitary-adrenal axis dysregulation and insulin resistance in elderly patients with depression.	Psychiatry research
55	Shinobu Sugihara	第一内科	Depletion of Uric Acid Due to SLC22A12 (URAT1) Loss-of-Function Mutation Causes Endothelial Dysfunction in Hypouricemia.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
56	Yoshiharu Kinugasa	第一内科	Multidisciplinary intensive education in the hospital improves outcomes for hospitalized heart failure patients in a Japanese rural setting.	BMC health services research
57	Kazuhiro Yamamoto	第一内科	Relation of risk factors with response to carvedilol in heart failure with preserved ejection fraction - a report from the Japanese Diastolic Heart Failure Study (J-DHF).	Journal of cardiology
58	Yoshiharu Kinugasa	第一内科	Subclinical hypothyroidism as a new therapeutic target for patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
59	Kazuhiro Yamamoto	第一内科	Octogenarian patients with heart failure. Commonly encountered in clinical practice but only a minority in clinical trials.	International heart journal
60	Hideki Shiochi	第一内科	Bezafibrate improves insulin resistance evaluated using the glucose clamp technique in patients with type 2 diabetes mellitus: a small-scale clinical study.	Diabetology & metabolic syndrome
61	Tsuyoshi Ohkura	第一内科	Ipragliflozin: A novel sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor developed in Japan.	World journal of diabetes
62	Tsuyoshi Ohkura	第一内科	Low serum galectin-3 concentrations are associated with insulin resistance in patients with type 2 diabetes mellitus.	Diabetology & metabolic syndrome
63	Tsuyoshi Ohkura	第一内科	Sitagliptin Improves the Impaired Acute Insulin Response during a Meal Tolerance Test in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Small-Scale Real-World Study.	Diabetes therapy : research, treatment and education of diabetes and related disorders

小計13

64	Masanari Watanabe	第三内科	Effects on asthma and induction of interleukin-8 caused by Asian dust particles collected in western Japan.	The Journal of asthma : official journal of the Association for the Care of Asthma
65	Masanari Watanabe	第三内科	Definition of Asian dust particles.	Environmental research
66	Jun Kurai	第三内科	Influence of Asian dust particles on immune adjuvant effects and airway inflammation in asthma model mice.	PloS one
67	Masanari Watanabe	第三内科	Decreased Pulmonary Function in School Children in Western Japan after Exposures to Asian Desert Dusts and Its Association with Interleukin-8.	BioMed research international
68	Kazuhiko Matsuzawa	地域医療学	Implication of intracellular localization of transcriptional repressor PLZF in thyroid neoplasms.	BMC endocrine disorders
69	Masamichi Kurosaki	脳神経外科	Case report of sarcoma of the sella caused by postoperative radiotherapy for a prolactin-producing pituitary adenoma.	Brain tumor pathology
70	Yoshihiro Maegaki	脳神経小児科学	Early predictors of status epilepticus-associated mortality and morbidity in children.	Brain & development
71	Akiko Tamasaki	脳神経小児科学	Risk factors for acute pancreatitis in patients with severe motor and intellectual disabilities.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society
72	Koyo Ohno	脳神経小児科学	Evolution of a symptomatic diffuse developmental venous anomaly with progressive cerebral atrophy in an atypical case of Sturge-Weber syndrome.	Brain & development
73	Kenichiro Tanaka	脳神経内科	Clinical evaluation of fatigue in Japanese patients with Parkinson's disease.	Brain and behavior
74	Mika Yamawaki	脳神経内科	Association of cerebral white matter lesions with cognitive function and mood in Japanese elderly people: a population-based study.	Brain and behavior
75	Takashi Nomura	脳神経内科	Validity of the Japanese version of the REM Sleep Behavior Disorder (RBD) Screening Questionnaire for detecting probable RBD in the general population.	Psychiatry and clinical neurosciences
76	Tadashi Adachi	脳神経内科	Autopsy case of spinocerebellar ataxia type 31 with severe dementia at the terminal stage.	Neuropathology : official journal of the Japanese Society of Neuropathology

小計13

77	Takamichi Ito	皮膚病態学	Poroma with sebaceous differentiation: dermoscopy for the diagnosis of skin tumor with sebaceous differentiation.	Indian journal of dermatology
78	Shinya Kano	皮膚病態学	Granulomatous cheilitis with intralymphatic histiocytosis possibly associated with calcium deposition caused by chronic inflammation owing to dental metals and periodontitis.	The Journal of dermatology
79	Hiroyuki Goto	皮膚病態学	Stoma creation for treatment of primary perianal Paget's disease.	European journal of dermatology : EJD
80	Yuko Ehara	皮膚病態学	The expression of melanoma inhibitory activity on mast cells in child patients with cutaneous mastocytosis.	Yonago acta medica
81	Hiroyuki Goto	皮膚病態学	Epidermal cyst with ossification: a patient report.	Yonago acta medica
82	Yuko Ehara	皮膚病態学	Unusual location of a blue nevus: development on the lacrimal punctum.	European journal of dermatology : EJD
83	Nanako Yamada	皮膚病態学	Early dermoscopic detection of lentigo maligna within a lesion of pigmented contact dermatitis.	European journal of dermatology : EJD
84	Masahide Ikeguchi	病態制御外科学	Inflammation-based prognostic scores and nutritional prognostic index in patients with locally-advanced unresectable colorectal cancer.	World journal of surgical oncology
85	Masahide Ikeguchi	病態制御外科学	Surgical treatment of retroperitoneal liposarcoma.	Yonago acta medica
86	Miwa Yoshimoto	病態制御外科学	Effectiveness of the LigaSure Small Jaw Vessel-Sealing System in Hepatic Resection.	Yonago acta medica
87	Tomoyuki Matsunaga	病態制御外科学	Gastric adenocarcinoma with thymic metastasis after curative resection: a case report.	Journal of gastric cancer
88	Shinji Otani	病態制御外科学	Associations between subjective symptoms and serum immunoglobulin E levels during Asian dust events.	International journal of environmental research and public health
89	Joji Watanabe	病態制御外科学	Maintaining a surgery service for local hospitals under the situation of a decreasing number of surgeons in a region of Japan.	World journal of surgery

小計13

90	Tsuyoshi Kitaura	分子制御内科学	Positive Predictive Value of True Bacteremia according to the Number of Positive Culture Sets in Adult Patients.	Yonago acta medica
91	Tomoya Harada	分子制御内科学	Causes of death in patients with asthma and asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap syndrome.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease
92	Akira Yamasaki	分子制御内科学	The relationships among sleep efficiency, pulmonary functions, and quality of life in patients with asthma.	International journal of general medicine
93	Miyako Takata	分子制御内科学	A new rapid method for detecting epidermal growth factor receptor mutations in non-small cell lung cancer.	Oncology reports
94	Tomohiro Sakamoto	分子制御内科学	A novel point-of-care system for high-speed real-time polymerase chain reaction testing for epidermal growth factor receptor mutations in bronchial lavage fluids after transbronchial biopsy in	International journal of oncology
95	Hiroki Izumi	分子制御内科学	Favorable effect of the combination of vinorelbine and dihydropyrimidine dehydrogenase-inhibitory fluoropyrimidine in EGFR-mutated lung adenocarcinoma: retrospective and in vitro studies.	International journal of oncology
96	Yoshiaki Oshima	麻酔・集中治療医学	Phosphoenolpyruvate administration protects ischemia-reperfusion injury in isolated rabbit lungs.	Journal of anesthesia
97	Yoshitaka Ishihara	薬物治療学	Hsa-miR-520d converts fibroblasts into CD105+ populations.	Drugs in R&D
98	Takahiro Tokuda	薬物治療学	Bone mineral density in residents of care facilities for the aged and effect of pharmacotherapy.	Yonago acta medica
99	Hiromi Matsumoto	リハビリテーション部	Incidence and risk factors for falling in patients after total knee arthroplasty compared to healthy elderly individuals.	Yonago acta medica
100	Hiroshi Hagino	リハビリテーション部	Increased bone mineral density with monthly intravenous ibandronate contributes to fracture risk reduction in patients with primary osteoporosis: three-year analysis of the MOVER study.	Calcified tissue international
101	Hiroshi Hagino	リハビリテーション部	Vitamin D3 analogs for the treatment of osteoporosis.	Canadian journal of physiology and pharmacology
102	Atsushi Yokoyama	神経病理診断科	Cerebellar expression of copper chaperone for superoxide, cytosolic cu/zn-superoxide dismutase, 4-hydroxy-2-nonenal, acrolein and heat shock protein 32 in patients with menkes kinky hair disease:	Yonago acta medica

小計13件

103	Shinsuke Kato	神経病理診断科	Pathologic reappraisal of wallenberg syndrome: a pathologic distribution study and analysis of literature.	Yonago acta medica
104	Yuzo Takagi	器官病理学	Cytoplasmic maspin expression is a predictor of poor prognosis in patients with lung adenocarcinoma measuring <3 cm.	Histopathology
105	Keiko Nagata	分子病理学	Reactivation of persistent Epstein-Barr virus (EBV) causes secretion of thyrotropin receptor antibodies (TRAbs) in EBV-infected B lymphocytes with TRAbs on their surface.	Autoimmunity
106	Keiko Nagata	分子病理学	Presence of Epstein-Barr virus-infected B lymphocytes with thyrotropin receptor antibodies on their surface in Graves' disease patients and in healthy individuals.	Autoimmunity
107	Ichiro Murakami	分子病理学	Immunoglobulin expressions are only associated with MCPyV-positive Merkel cell carcinomas but not with MCPyV-negative ones: comparison of prognosis.	The American journal of surgical pathology
108	Ichiro Murakami	分子病理学	Interleukin-1 loop model for pathogenesis of Langerhans cell histiocytosis.	Cell communication and signaling : CCS
109	Ichiro Murakami	分子病理学	High viral load of Merkel cell polyomavirus DNA sequences in Langerhans cell sarcoma tissues.	Infectious agents and cancer
110	Ichiro Murakami	分子病理学	Establishment of a Langerhans cell histiocytosis lesion cell line with dermal dendritic cell characteristics.	Oncology reports

計110

(注) 1　当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3　「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4　「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	野村 哲志	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	各種疾患　機能性疾患 Restless legs syndrome(RLS)の現状	Annual Review神経 2015巻 Page271-278(2015.01)
2	山本 幹枝	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	ホモシスチン尿症をともなったメチルマロン酸尿症の1例	臨床神経学(0009-918X)55巻1号 Page23-28(2015.01)

小計2

3	安井 建一	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【難病を抱えて生きる高齢者への看護】脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の特徴と治療・看護	臨床老年看護21巻5号 Page2-11(2014.09)
4	伊藤 悟	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	Parkinson病にみられた性欲過剰症状に抑肝散が有効であった1例	神経治療学(0916-8443)31巻4号 Page431-434(2014.07)
5	古和 久典	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	誌上ディベート 片頭痛と緊張型頭痛は同じ疾患か 片頭痛と緊張型頭痛は異なる疾患である	Headache Clinical & Science(2185-5994)5巻1号 Page20-23(2014.05)
6	足立 正	鳥取大学 医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【認知症診療最前線】嗜銀顆粒性認知症の診断	Dementia Japan(1342-646X)28巻2号 Page182-188(2014.05)
7	永島 英樹	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座運動器医学分野	80歳以上の高齢者に対する脊椎手術	鳥取医学雑誌(0388-3795)42巻2号 Page67-70(2014.07)
8	永島 英樹	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座運動器医学分野	【脊椎脊髄の科学-基礎と臨床の進歩 Review 2014】(第6章)関節リウマチと炎症性疾患 脊椎感染症 最近の治療の動向	脊椎脊髄ジャーナル(0914-4412)27巻4号 Page354-358(2014.04)
9	谷尾 俊輔	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座口腔顎顔面病態外科学分野	広範な顎顔面欠損に対し眼鏡を利用した顎顔面補綴による再建を行った2例	米子医学雑誌(0044-0558)66巻1号 Page12-17(2015.01)
10	田窪 千子	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座口腔顎顔面病態外科学分野	下顎骨に生じた悪性血管周皮腫(孤立性線維性腫瘍)の1例	日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)61巻3号 Page158-163(2015.03)
11	園田 真之	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座口腔顎顔面病態外科学分野	山陰弥生人の頭蓋と歯の形態学的研究	米子医学雑誌(0044-0558)65巻6号 Page146-157(2014.11)
12	土井 理恵子	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座口腔顎顔面病態外科学分野	悪性リンパ腫の第二癌としてみられた下顎歯肉癌の2例	日本口腔腫瘍学会誌(0915-5988)26巻3号 Page113-121(2014.09)
13	吉田 優	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座口腔顎顔面病態外科学分野	口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計的検討 合併した先天異常について	日本口蓋裂学会雑誌(0386-5185)39巻1号 Page28-33(2014.04)
14	竹内 裕美	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【鼻アレルギー診療におけるエビデンス】セルフケアと予防 補完代替医療をどう活用するか サプリメント、乳酸菌など	Progress in Medicine(0287-3648)34巻10号 Page1723-1728(2014.10)
15	福原 隆宏	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	診断と経過観察に超音波検査が有用であったCarotidyniaの1例	乳腺甲状腺超音波医学(2187-2880)3巻3号 Page8-12(2014.07)

小計13

16	長谷川 賢作	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【中耳真珠腫進展度分類と術式選択(2)】中耳真珠腫に対する軟骨鼓室形成術の術後中期成績	Otology Japan(0917-2025)24巻3号 Page233-239(2014.07)
17	藤原 和典	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【甲状腺に対するロボット支援手術】頭頸部外科におけるロボット支援手術の現状	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌(2186-9545)31巻2号 Page87-90(2014.06)
18	福原 隆宏	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【甲状腺に対するロボット支援手術】ロボット支援手術の概要について	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌(2186-9545)31巻2号 Page78-82(2014.06)
19	竹内 裕美	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【鼻呼吸障害と睡眠呼吸障害】鼻呼吸障害と口呼吸　鼻呼吸障害の検査法	JOHNS(0910-6820)30巻4号 Page405-410(2014.04)
20	藤原 和典	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	【頭頸部癌に対する最新治療】現場からの視点　ダ・ヴィンチ手術	頭頸部癌Frontier(2187-5502)2巻1号 Page9-11(2014.07)
21	藤原 和典	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	頭頸部外科領域でのロボット手術　TORSを中心として	日本耳鼻咽喉科学会会報(0030-6622)117巻7号 Page887-892(2014.07)
22	中村 敦俊	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	皮膚転移をきたした骨外性骨肉腫	皮膚科の臨床(0018-1404)56巻8号 Page1228-1229(2014.08)
23	谷口 陽亮	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	小児の頭部に生じた皮膚線維腫	皮膚科の臨床(0018-1404)56巻6号 Page936-937(2014.06)
24	橋本 靖弘	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	上口唇赤唇に生じた類表皮嚢腫	皮膚科の臨床(0018-1404)56巻6号 Page934-935(2014.06)
25	江原 由布子	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	神経線維腫症1型(NF1)に生じたEpstein-Barr virus(EBV)関連血球貪食性リンパ組織球症(hemophagocytic lymphohistiocytosis:HLH)の1例	日本レックリングハウゼン病学会雑誌(2185-5773)5巻1号 Page27-30(2014.04)
26	西村 元延	鳥取大学 医学部器官再生外科学分野	【長寿社会に求められる弁膜症治療】治す変革期を迎える弁膜症外科手術	Heart View(1342-6591)18巻9号 Page988-992(2014.09)
27	西村 元延	鳥取大学 医学部器官再生外科学分野	【心筋症Update】心筋症非薬物療法の進歩　心筋症に対する左心補助循環装置	医学のあゆみ(0039-2359)252巻10号 Page1119-1124(2015.03)
28	本間 正人	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座救急・災害医学分野	【今のままで大丈夫?チームで見直す災害対策】BCPに対応していますか?　災害対策マニュアルの見直しHow To	Nursing BUSINESS(1881-5766)9巻3号 Page252-260(2015.03)

小計13

29	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	【内科医に求められる他科の知識 専門家が伝えるDo-Don't】(第1章)外科 呼吸器外科 胸腔鏡手術とロボット支援手術	内科(0022-1961)114巻6号 Page925-927(2014.12)
30	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	【期待される肺癌の低侵襲手術】ロボット支援下肺切除術	日本医事新報(0385-9215)4735号 Page28-32(2015.01)
31	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	【癌に対するロボット手術の現況】肺癌	癌と化学療法(0385-0684)41巻11号 Page1349-1353(2014.11)
32	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	【ロボット支援手術の進歩】呼吸器外科におけるロボット支援手術の現状と展望	Medical Science Digest(1347-4340)40巻11号 Page533-536(2014.10)
33	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	肺癌に対するロボット手術の現況と展望	肺癌(0386-9628)54巻6号 Page825-830(2014.10)
34	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	ロボット手術リレー連載(第3回) 呼吸器外科	日本コンピュータ外科学会誌(1344-9486)16巻2号 Page56-60(2014.07)
35	荒木 邦夫	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	パッと見てサッと押さえる!科別で覚える診る看るカンタン手術イラスト 呼吸器外科	オペナーシング(0913-5014)29巻6号 Page497-500(2014.06)
36	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野	【肺癌治療の最近の動向】ダ・ヴィンチによる肺葉切除	日本外科学会雑誌(0301-4894)115巻3号 Page147-150(2014.05)
37	武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	ダ・ヴィンチ外科手術システムの概要と安全な使用法	日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)19巻7号 Page894-897(2014.10)
38	村岡 邦康	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	ロボット支援根治的前立腺全摘除術後の性機能	西日本泌尿器科(0029-0726)77巻3号 Page73-82(2015.03)
39	眞砂 俊彦	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【内科医に求められる他科の知識 専門家が伝えるDo-Don't】(第4章)泌尿器科 泌尿器科領域におけるロボット支援手術	内科(0022-1961)114巻6号 Page1124-1126(2014.12)
40	本田 正史	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【泌尿器科医のためのクリニカル・パール(2)】下部尿路機能障害のクリニカル・パール	臨床泌尿器科(0385-2393)68巻12号 Page918-923(2014.11)
41	本田 正史	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	下部尿路症状に対するボツリヌス毒素療法の現況	西日本泌尿器科(0029-0726)76巻10号 Page345-353(2014.10)

小計13

42	武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【ロボット支援下内視鏡的前立腺全摘術を安全かつ有効に行うための創意・工夫】ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における周術期合併症の対策と工夫 コメント	泌尿器外科(0914-6180)27巻9号 Page1469-1470(2014.09)
43	眞砂 俊彦	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	鳥取大学病院におけるロボット支援下腎部分切除術(RAPN)の初期経験	Japanese Journal of Endourology(2186-1889)27巻2号 Page339-343(2014.09)
44	村岡 邦康	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【どう見える?どう扱う?低位前方切除術のメルクマール-Neurovascular Bundle/Denonvilliers筋膜/骨盤内臓神経+骨盤神経叢/下腹神経+腰内臓神経-】Neurovascular Bundle 泌尿器科医の視点	手術(0037-4423)68巻8号 Page1033-1038(2014.07)
45	武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【甲状腺に対するロボット支援手術】ロボット支援手術の利点と問題点	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌(2186-9545)31巻2号 Page83-86(2014.06)
46	瀬島 健裕	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	腎細胞癌に対する腎摘除後の、腎機能低下の程度を予測する方法と意義について	日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌(1347-5010)22巻1号 Page38-41(2014.04)
47	村岡 邦康	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	【前立腺がんの手術】ロボット支援手術について 外科解剖からみたロボット支援前立腺全摘除術(RARP)	Prostate Journal(2188-4978)1巻1号 Page15-22(2014.04)
48	稲垣 喜三(鳥取大学 医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野)	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野	デクスメデトミジンによる局所麻酔下の鎮静	日本臨床麻酔学会誌(0285-4945)35巻2号 Page279-287(2015.03)
49	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野	【さまざまな手術に対応できる環境を!最新の手術室事情2014～ハイブリッド手術室、内視鏡下手術・ロボット支援下手術対応の手術室～】将来の手術室改装・増設に向けたアドバイス	オペナーシング(0913-5014)29巻11号 Page1061-1064(2014.11)
50	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野	【さまざまな手術に対応できる環境を!最新の手術室事情2014～ハイブリッド手術室、内視鏡下手術・ロボット支援下手術対応の手術室～】内視鏡下手術・ロボット支援下手術対応の手術室	オペナーシング(0913-5014)29巻11号 Page1056-1060(2014.11)
51	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野	【さまざまな手術に対応できる環境を!最新の手術室事情2014～ハイブリッド手術室、内視鏡下手術・ロボット支援下手術対応の手術室～】ハイブリッド手術室	オペナーシング(0913-5014)29巻11号 Page1052-1055(2014.11)
52	河口 剛一郎	鳥取大学 医学部機能病態内科学	【抗血栓薬と消化管診療】当院における上部消化管出血の現況 特に抗血栓薬の及ぼす影響の検討	消化管の臨床(1341-1802)20巻 Page9-13(2015.03)
53	林 暁洋	鳥取大学 医学部機能病態内科学	【生活習慣と消化管・膵疾患】生活習慣を中心とした頭頸部・食道・胃癌患者背景	消化器内科(1884-2895)58巻5号 Page581-587(2014.05)
54	八島 一夫	鳥取大学 医学部機能病態内科学	【消化器疾患治療薬の効果的な使い方】炎症性腸疾患への5アミノサリチル酸製剤の使い方と使い分け	月刊レジデント7巻5号 Page85-92(2014.05)

小計13

55	林 暁洋	鳥取大学 医学部機能病態内科学	当院における高齢(75歳以上)食道扁平上皮癌の患者・臨床背景の検討	日本高齢消化器病学会誌(1881-0837)16巻2号 Page56-60(2014.04)
56	杉原 誉明	鳥取大学 医学部機能病態内科学	超高齢者(80歳以上)の肝細胞癌の治療選択と予後の後ろ向き検討	日本高齢消化器病学会誌(1881-0837)16巻2号 Page33-38(2014.04)
57	八島 一夫	鳥取大学 医学部機能病態内科学	高齢者の急性膵炎	日本医事新報(0385-9215)4708号 Page30-36(2014.07)
58	河口 剛一郎	鳥取大学 医学部機能病態内科学	当院における高齢者上部消化管出血での予後不良因子の検討	日本高齢消化器病学会誌(1881-0837)17巻2号 Page22-28(2015.03)
59	岡本 欣也	鳥取大学 医学部機能病態内科学(消化器内科)	【肝臓病診療のアップデート】薬物性肝障害	診断と治療(0370-999X)102巻11号 Page1645-1650(2014.11)
60	春木 朋広	鳥取大学 医学部胸部外科・乳腺内分泌外科	両側胸鎖関節を含む胸骨切除を行った甲状腺癌胸骨転移の1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻9号 Page2388-2393(2014.09)
61	領家 和男	鳥取大学 医学部口腔顎顔面病態外科学分野	診断力てすと　口腔・口咽頭粘膜の疼痛を伴う摂食障害	DENTAL DIAMOND(0386-2305)39巻15号 Page131-132(2014.11)
62	大石 徹郎	鳥取大学 医学部産科婦人科	【血管新生を標的とした婦人科癌治療】血管新生阻害薬の現況	産科と婦人科(0386-9792)82巻2号 Page155-159(2015.02)
63	佐藤 慎也	鳥取大学 医学部産科婦人科	【卵巣がん治療の個別化を目指す新たな局面】分子標的治療薬の役割　新たな薬剤への期待	産婦人科の実際(0558-4728)63巻7号 Page941-946(2014.07)
64	谷口 文紀	鳥取大学 医学部産科婦人科	【現代生殖医療のメインストリーム　ARTマスターたちの治療戦略】不妊治療の実際子宮内膜症合併不妊の治療	産婦人科の実際(0558-4728)63巻11号 Page1681-1689(2014.10)
65	板持 広明	鳥取大学 医学部産科婦人科	卵巣癌のMolecular Medicine 卵巣癌のバイオマーカーの開発	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)32巻2号 Page211-216(2014.04)
66	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	【眼科診療のエッセンスQ&A】眼表面と角膜疾患(Q14)　角膜感染症で真菌性と細菌性の違いについて教えてください	あたらしい眼科(0910-1810)31巻臨増 Page30-31(2014.12)
67	春木 智子	鳥取大学 医学部視覚病態学	インターフェロン治療中に発症し前眼部OCTが有用であった原田病の1例	臨床眼科(0370-5579)68巻6号 Page831-836(2014.06)

小計13

68	蝶野 郁世	鳥取大学 医学部視覚病態学	周辺部角膜潰瘍を契機に顕微鏡的多発血管炎の診断に至った1例	眼科臨床紀要(1882-5176)7巻5号 Page352-356(2014.05)
69	大松 寛	鳥取大学 医学部視覚病態学	白内障手術前患者における通常培養による結膜嚢内細菌検査	臨床眼科(0370-5579)68巻5号 Page637-643(2014.05)
70	神鳥 美智子	鳥取大学 医学部視覚病態学	眼感染症由来Staphylococcus aureusのIn Vitroバイオフィルム形成に及ぼすグルコースの影響と抗菌点眼薬の殺菌効果	あたらしい眼科(0910-1810)31巻4号 Page571-580(2014.04)
71	山崎 厚志	鳥取大学 医学部視覚病態学	黄斑円孔発症の前に黄斑偽円孔様所見を呈した2症例	眼科手術(0914-6806)27巻2号 Page265-268(2014.04)
72	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	【徹底理解!点眼剤 眼科領域の薬物治療に活かすポイント】治療の最前線!点眼剤の使い分けとピットフォール 眼感染症	薬局(0044-0035)65巻5号 Page1788-1795(2014.04)
73	馬場 高志	鳥取大学 医学部視覚病態学	両眼の網膜中心動脈閉塞症を契機に発見された肺小細胞癌の1例	臨床眼科(0370-5579)69巻3号 Page355-360(2015.03)
74	西村 玲)	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】先天異常/先天奇形 染色体異常・先天奇形症候群 Leprechaunism(Donohue症候群)	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群IV Page594-597(2014.09)
75	上桝 仁志)	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	目で見る小児科 喘鳴を契機に喉頭横隔膜症と診断されたDown症候群の1例	小児科(0037-4121)55巻7号 Page1007-1008(2014.06)
76	倉信 奈緒美	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	エピペン講習会 園でのアナフィラキシー対応	保育と保健(1341-6758)21巻1号 Page25-26(2015.01)
77	奥野 啓介	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	腹部超音波検査で偶然発見された小児脾過誤腫の1例	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011X)51巻5号 Page545-549(2014.12)
78	村上 潤	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	【小児疾患診療のための病態生理1 改訂第5版】消化器疾患 C型肝炎	小児内科(0385-6305)46巻増刊 Page631-637(2014.11)
79	村上 潤	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	【小児の治療指針】消化器 急性膵炎、慢性膵炎	小児科診療(0386-9806)77巻増刊 Page654-659(2014.04)
80	宮原 直樹	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	11ヵ月の男児に発症した乳瘤の1例	小児科(0037-4121)56巻2号 Page211-215(2015.02)

小計13

81	山田 祐子	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	繰り返す腹痛と嘔吐を契機に診断された間欠性水腎症の1例	小児科臨床(0021-518X)67巻11号 Page2227-2232(2014.11)
82	宮原 史子	鳥取大学 医学部周産期・小児医学	日本人における臍帯血中多価不飽和脂肪酸の特徴	日本周産期・新生児医学会雑誌(1348-964X)50巻1号 Page256-262(2014.05)
83	谷島 伸二	鳥取大学 医学部整形外科学講座	【術前・術後のオキテを知ろう! 術前24時間～術後48時間の観察ポイントとケア】腰椎後方除圧固定術	整形外科看護(1342-4718)20巻2号 Page128-132(2015.02)
84	谷口 文紀	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【子宮内膜症治療の未来図】 新しい子宮内膜症治療薬を求めて IAP(inhibitor of apoptosis protein)阻害薬	臨床婦人科産科(0386-9865)68巻12号 Page1193-1199(2014.12)
85	島田 宗昭	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【婦人科腫瘍領域における実地臨床につながる臨床試験】子宮頸癌術後補助療法における臨床試験	産婦人科の実際(0558-4728)63巻13号 Page2075-2081(2014.12)
86	島田 宗昭	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【あなたにもできる 最先端の婦人科手術】ロボット手術	臨床婦人科産科(0386-9865)68巻7号 Page650-656(2014.07)
87	谷口 文紀	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【女性医療について】中高年の子宮内膜症性疼痛の取り扱い	最新女性医療(2188-5842)1巻1号 Page18-24(2014.11)
88	板持 広明	鳥取大学 医学部生殖機能医学	難治性卵巣癌の克服を目指して 卵巣明細胞腺癌に対する線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)2シグナル伝達経路を標的とした新規治療戦略	日本産科婦人科学会雑誌(0300-9165)66巻11号 Page2751-2760(2014.11)
89	谷口 文紀	鳥取大学 医学部生殖機能医学	子宮内膜症、発症・進展の謎を探る NFκB を標的とした新しい子宮内膜症治療の可能性	日本エンドメトリオーシス学会会誌35巻 Page79-85(2014.07)
90	谷口 文紀	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【よくわかる検査と診断】(第3章)生殖内分泌分野 子宮内膜症	産科と婦人科(0386-9792)82巻Suppl. Page327-331(2015.03)
91	岩田 正明	鳥取大学 医学部精神行動医学分野	【うつ病の理解のために】うつ病の最新トピックス	心と社会(0023-2807)45巻4号 Page31-41(2014.12)
92	岩田 正明	鳥取大学 医学部精神行動医学分野	【グリアーニューロン相関と精神疾患】ミクログリアとストレス	分子精神医学(1345-9082)14巻4号 Page259-266(2014.10)
93	程塚 正則	鳥取大学 医学部第二内科	高齢肝硬変患者におけるミニマル肝性脳症の診断	日本高齢消化器病学会誌(1881-0837)17巻2号 Page78-82(2015.03)

小計13

94	岡野 淳一	鳥取大学 医学部第二内科	80歳以上の超高齢初発肝細胞癌患者の背景および診断経緯の実情と問題点	日本高齢消化器病学会誌(1881-0837)17巻2号 Page71-77(2015.03)
95	浜田 紀宏	鳥取大学 医学部地域医療学講座	生体内における尿酸の役割 心臓・高血圧に対する尿酸の影響	痛風と核酸代謝(1344-9796)38巻2号 Page150-152(2014.12)
96	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座	【慢性頭痛の診療-Update-】片頭痛の病態生理	最新医学(0370-8241)69巻6号 Page1117-1123(2014.06)
97	兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【精神科医療技術の将来】統合失調症の社会機能障害 認知機能を中心に	精神科治療学(0912-1862)30巻1号 Page45-50(2015.01)
98	兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【うつ病の理解のために】抑うつ状態の多様性と適切な治療	心と社会(0023-2807)45巻4号 Page42-48(2014.12)
99	横山 勝利	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【向精神薬の副作用と対策 Update】認知機能に対する副作用	臨床精神医学(0300-032X)43巻11号 Page1549-1552(2014.11)
100	朴 盛弘	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【光トポグラフィー検査をどう使いこなすか】うつ病のどのような臨床徴候を反映するのか	精神科(1347-4790)25巻3号 Page283-289(2014.09)
101	佐竹 隆宏	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【成人期ADHDの薬物療法:その課題と展望】成人になってから初めて診断されたADHD患者を治療する際の留意点	臨床精神薬理(1343-3474)17巻9号 Page1243-1249(2014.09)
102	松村 博史	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	激しい行動化により半年間にわたり頻回の入院を要し、広汎性発達障害が疑われた思春期女児の1例	精神科(1347-4790)25巻1号 Page108-112(2014.07)
103	山田 武史	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野	【双極性障害の認知機能障害】双極性障害の認知機能障害に対する治療法	精神科(1347-4790)24巻4号 Page419-424(2014.04)
104	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】頭痛 頭痛の遺伝子	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群VI Page618-624(2014.12)
105	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	頭痛診療におけるMissing Link Cortical spreading depressionとpain	臨床神経学(0009-918X)54巻12号 Page1006-1008(2014.12)
106	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【薬物乱用頭痛の病態解明と治療】本邦における薬物乱用頭痛の実態	神経内科(0386-9709)81巻4号 Page423-426(2014.10)

小計13

107	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	内科の頭痛　片頭痛と血圧の関連性に着目して	日本頭痛学会誌(1345-6547)41巻1号 Page73-76(2014.07)
108	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【認知症の原因・予防から診断・治療まで】認知症とは?認知症はなぜ起こるのか?	臨牀と研究(0021-4965)91巻7号 Page863-865(2014.07)
109	和田 健二	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【認知症治療の現状と展望】アルツハイマー型認知症治療薬	Aging & Health23巻2号 Page19-24(2014.07)
110	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【内科疾患　最新の治療　明日への指針】(第7章)神経・筋 認知症性疾患	内科(0022-1961)113巻6号 Page1388-1390(2014.06)
111	野村 哲志	鳥取大学 医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	神経疾患における睡眠障害 パーキンソン病と睡眠障害	臨床神経学(0009-918X)54巻12号 Page987-990(2014.12)
112	玉崎 章子	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【けいれん性疾患の最新の治療】急性期非けいれん性てんかん重積の治療	小児科診療(0386-9806)78巻2号 Page191-198(2015.02)
113	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【けいれん性疾患の最新の治療】急性期意識障害とけいれんの診かた	小児科診療(0386-9806)78巻2号 Page161-164(2015.02)
114	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】てんかん症候群　その他の重要な病態　小児交互性片麻痺	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群VI Page479-483(2014.12)
115	前垣 義弘	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】てんかん症候群　その他の重要な病態　1p36欠失症候群	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群VI Page430-433(2014.12)
116	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】その他の神経疾患　Kluever-Bucy症候群	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群V Page768-771(2014.11)
117	底田 辰之	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】先天異常/先天奇形　神経皮膚症候群(母斑症)　伊藤白斑	日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群IV Page771-772(2014.09)
118	杉原 進	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【けいれん・意識障害】ピンポイント小児医療　変性脱髄性疾患　多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎	小児内科(0385-6305)46巻9号 Page1323-1328(2014.09)
119	井上 菜穂	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【発達障害】発達障害児の家族への支援	公衆衛生(0368-5187)78巻6号 Page402-405(2014.06)

小計13

120	前垣 義弘	鳥取大学 医学部脳神経小児科	発達と小児神経疾患　原点に立ち返って臨床診断に役立つ脳波と神経生理検査の読み方	小児神経学の進歩43巻 Page35-51(2014.05)
121	玉崎 章子	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【小児の治療指針】神経・筋　Sturge-Weber症候群	小児科診療(0386-9806)77巻増刊 Page851-853(2014.04)
122	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【小児の治療指針】神経・筋　脳性麻痺、重症心身障害	小児科診療(0386-9806)77巻増刊 Page844-846(2014.04)
123	野村 哲志	鳥取大学 医学部脳神経内科	睡眠時無呼吸とレストレスレッグス症候群	循環器内科(1884-2909)77巻2号 Page175-182(2015.02)
124	和田 健二	鳥取大学 医学部脳神経内科学	【認知症を診ていこう】患者さん・家族の理解を得られる伝え方　くすりの効果	治療(0022-5207)97巻3号 Page372-376(2015.03)
125	山田 七子	鳥取大学 医学部皮膚病態学	走査型電子顕微鏡　現在、過去、未来	西日本皮膚科(0386-9784)76巻5号 Page435-441(2014.10)
126	矢田 晋作	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【IVR BOOK 2014】(DIVISION 1)放射線科領域のIVR CLINICAL REPORT　Virtus 1マーカー	Rad Fan(1348-3498)12巻12号 Page32-33(2014.10)
127	篠原 祐樹	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【脳動脈瘤とくも膜下出血を究める】くも膜下出血のCT・MRI診断	画像診断(0285-0524)34巻13号 Page1438-1448(2014.10)
128	夕永 裕士	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	右無機能腎をきたした卵巣静脈症候群の1例	臨床画像(0911-1069)30巻9号 Page1014-1016(2014.09)
129	矢田 晋作	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【腹部Interventional Radiologyの手技とコツ】動脈性消化管出血に対するTAE	映像情報Medical(1346-1354)46巻8号 Page700-705(2014.08)
130	篠原 祐樹	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【脳・頭頸部腫瘍の治療効果判定に役立つ画像診断法】脳・頭頸部領域のCT診断 Discovery CT750 HDを用いた臨床応用を中心に	映像情報Medical(1346-1354)46巻7号 Page631-635(2014.07)
131	藤井 進也	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【熟練医師が伝える婦人科画像診断のピットフォール:落とし穴に落ちないために】婦人科救急疾患のピットフォール	臨床画像(0911-1069)30巻6号 Page640-649(2014.06)
132	矢田 晋作	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【非外傷性出血のIVR】非外傷性動脈性消化管出血に対するIVR	IVR: Interventional Radiology(1340-4520)29巻2号 Page127-133(2014.06)

小計13

133	藤井 進也	鳥取大学 医学部病態解析医学講座画像診断治療学講座	【女性骨盤の画像スペクトラム-生理的変化と良性病変のwide variation-】ホルモン環境と女性骨盤部の画像スペクトラム	画像診断(0285-0524)34巻6号 Page556-566(2014.04)
134	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	【心不全治療の最新動向】HFpEF 駆出率の保たれた心不全に対する診断と治療を考える	Cardiovascular Contemporary(2186-9340)4巻1号 Page14-19(2015.03)
135	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	【ハイリスク合併症を有する高血圧治療-「第35回冠不全研究会」より-】心不全を伴う高血圧治療	診療と新薬(0037-380X)52巻2号 Page203-210(2015.02)
136	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	【心不全における利尿薬の最近の話題】ミネラロコルチコイド受容体拮抗薬	心臓(0586-4488)46巻9号 Page1213-1217(2014.09)
137	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	【利尿薬をめぐる諸問題】心不全治療におけるミネラロコルチコイド受容体遮断薬	呼吸と循環(0452-3458)62巻5号 Page444-449(2014.05)
138	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療の普及に向けて	循環器内科(1884-2909)75巻4号 Page421-426(2014.04)
139	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科	【心血管系疾患と糖尿病-どう対応していくか-】診る 糖尿病の心機能を心エコー図でどのように診る?	Heart View(1342-6591)18巻4号 Page350-356(2014.04)
140	加藤 雅彦	鳥取大学 医学部病態情報内科学	【循環器疾患と睡眠呼吸障害】炎症・サイトカインと睡眠呼吸障害	循環器内科(1884-2909)77巻2号 Page147-151(2015.02)
141	衣笠 良治	鳥取大学 医学部病態情報内科学	【循環器科医必携-日常診療の疑問解決します-】収縮力の保たれた心不全(HFpEF)の治療のゴールと方法について教えてください	Heart View(1342-6591)18巻12号 Page188-193(2014.11)
142	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科学	【心不全診療における心エコーの役割-未来への提言】輝きを失わないレジェンドに学ぶ 今も主力!血流ドプラ法による血行動態把握の傾向と対策	心エコー(1345-4951)15巻10号 Page956-965(2014.10)
143	衣笠 良治	鳥取大学 医学部病態情報内科学	【長寿社会に求められる弁膜症治療】治すedge-to-edge repair MitraClipの可能性と限界は	Heart View(1342-6591)18巻9号 Page978-983(2014.09)
144	小倉 一能	鳥取大学 医学部病態情報内科学	右室内遅延電位群の焼灼にて心電図上のNotchの消失を認めた催不整脈性右室心筋症による心室頻拍の1例	臨床心臓電気生理(0285-1652)37巻 Page229-239(2014.05)
145	向 菜津子	鳥取大学 医学部病態情報内科学(循環器内科)	【今、増えている高齢者大動脈弁狭窄症を識る!】大動脈弁狭窄症の基礎知識 どんな病気か?	循環器ナーシング4巻12号 Page6-13(2014.12)

小計13

146	加藤 雅彦	鳥取大学 医学部病態情報内科学分野	弁膜症治療ニューパラダイムを迎えて 超高齢重症大動脈弁狭窄症の手術適応は症状の有無で決定してよいか?	循環器専門医(0918-9599)22巻2号 Page260-265(2014.09)
147	伊澤 正一郎	鳥取大学 医学部病態情報内科学分野	褐色細胞腫との鑑別が必要な123I-MIBG陽性腫瘍の臨床的特徴	日本内分泌学会雑誌(0029-0661)90巻Suppl. Page45-48(2014.09)
148	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報内科学分野(循環器内科・内分泌代謝内科)	他科が気にする糖尿病 循環器内科	DxM: Diet Exercise Medicine7巻 Page06-07(2015.01)
149	三明 淳一朗	鳥取大学 医学部病態情報内科学分野循環器内科	【心筋症Update】二次性心筋症 頻脈誘発性心筋症診療の新局面	医学のあゆみ(0039-2359)252巻10号 Page1106-1111(2015.03)
150	網崎 正孝	鳥取大学 医学部病態制御外科	多発腸結核穿孔をきたした粟粒結核の1例	米子医学雑誌(0044-0558)66巻1号 Page1-6(2015.01)
151	花木 武彦	鳥取大学 医学部病態制御外科	絨毛癌への分化を示し急激な経過を辿った進行胆嚢癌の1例	胆道(0914-0077)28巻5号 Page815-820(2014.12)
152	山本 学	鳥取大学 医学部病態制御外科	S-1単剤にて長期無再発生存が得られている腹膜播種陽性胃癌の1例	癌と化学療法(0385-0684)41巻11号 Page1417-1419(2014.11)
153	花木 武彦	鳥取大学 医学部病態制御外科	尿膜管遺残に対して腹腔鏡下尿膜管切除術を施行した1例、および過去5年の本邦報告例のまとめ	米子医学雑誌(0044-0558)65巻4-5 Page110-118(2014.09)
154	花木 武彦	鳥取大学 医学部病態制御外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した副交通胆管枝を有する胆嚢結石症の1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻8号 Page2293-2299(2014.08)
155	渡邉 浄司	鳥取大学 医学部病態制御外科	地域外科医療を支える地方国立大学病院の工夫	日本外科学会雑誌(0301-4894)115巻3号 Page165-168(2014.05)
156	高屋 誠吾	鳥取大学 医学部病態制御外科	術前にDCS療法を行い組織学的CRが得られた4型進行胃癌の1切除例	米子医学雑誌(0044-0558)66巻1号 Page7-11(2015.01)
157	山本 一博	鳥取大学 医学部病態制御外科	心不全患者にβ遮断薬を上手に使いこなすコツ	日本医事新報(0385-9215)4708号 Page57(2014.07)
158	塩見 達志	鳥取大学 医学部病理学講座器官病理学分野	【皮膚疾患のみかたII-腫瘍および腫瘍様病変-】嚢胞性腫瘍および腫瘍様病変 嚢腫・偽嚢腫について	病理と臨床(0287-3745)32巻4号 Page411-416(2014.04)

小計13

159	清水 英治	鳥取大学 医学部分子制御内科学	藤原らEBUS-TBNA(Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration)施行後の発熱に関する臨床的検討""	気管支学(0287-2137)37巻1号 Page8-9(2015.01)
160	阪本 智宏	鳥取大学 医学部分子制御内科学	Medical Pictures 特発性器質化肺炎との鑑別を要した肺クリプトコッカス症	THE LUNG-perspectives(0919-5742)22巻4号 Page353(2014.11)
161	桑本 聡史	鳥取大学 医学部分子病理学	病理学教育の工夫(第2回) 病理夏の学校での取り組み 中国四国支部	病理と臨床(0287-3745)32巻5号 Page569-571(2014.05)
162	片岡 英幸	鳥取大学 医学部保健学科耳鼻咽喉科頭頸部外科	手術手技 私が愛用する手術器具 ディーバー鉤	JOHNS(0910-6820)30巻11号 Page1653-1656(2014.11)
163	長谷川 純一	鳥取大学 医学部薬物治療学・薬物療法内科	特殊病態における臨床薬理学 高齢者における臨床薬理学 高齢者の薬物治療上の留意点	臨床薬理(0388-1601)46巻2号 Page99-103(2015.03)
164	森崎 剛史	鳥取大学 感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	甲状舌管周囲の甲状腺組織由来と考えられた乳頭癌例	耳鼻咽喉科臨床(0032-6313)107巻12号 Page1017-1020(2014.12)
165	藤井 香綸	鳥取大学 感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【基底細胞癌】局所皮弁上に顕在化した基底細胞癌の1例	皮膚科の臨床(0018-1404)57巻2号 Page142-143(2015.02)
166	中村 廣繁	鳥取大学 胸部外科	【いますぐ役立つ診断・治療デバイス】 呼吸器領域 手術支援ロボット(肺)	胸部外科(0021-5252)67巻8号 Page741-746(2014.07)
167	東 幸弘	鳥取大学 産科婦人科	妊娠39週に急性心筋梗塞と診断し帝王切開で生児を得た一例	現代産婦人科(1882-482X)62巻2号 Page269-273(2014.04)
168	谷口 文紀	鳥取大学 産科婦人科	【月経困難症を診る】月経困難症の治療薬有効性と安全性 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬	Pharma Medica(0289-5803)32巻6号 Page29-33(2014.06)
169	井上 幸次	鳥取大学 視覚病態学	眼科医の手引 硝子体注射における抗菌点眼薬使用のジレンマ	日本の眼科(0285-1326)86巻3号 Page302-303(2015.03)
170	村上 潤	鳥取大学 周産期・小児医学	【胎児・新生児の肝・胆道疾患】予防 C型肝炎母子感染予防	周産期医学(0386-9881)44巻10号 Page1353-1356(2014.10)
171	藤田 章啓	鳥取大学 整形外科	小指球ハンマー症候群との鑑別を要した手掌静脈血栓の1例	整形外科と災害外科(0037-1033)63巻3号 Page589-592(2014.09)

小計13

172	榎田 信平	鳥取大学 整形外科	セメントレスカップ設置後の寛骨臼外壁に行ったペースト状骨移植の短期成績	中国・四国整形外科学会雑誌(0915-2695)26巻2号 Page241-245(2014.09)
173	榎田 信平	鳥取大学 整形外科	大腿骨頸部にherniation pitsを認めた4例の検討	Hip Joint(0389-3634)40巻 Page888-890(2014.08)
174	山下 尚寛	鳥取大学 整形外科	従来法で行うTKAにおける大腿骨コンポーネントの設置 髄内ロッドの挿入方向で設置角は改善するか?	JOSKAS(1884-8842)39巻3号 Page706-710(2014.06)
175	井上 菜穂	鳥取大学 大学院医学系研究科脳神経小児科部門	障害児のきょうだいの心理的支援プログラムの効果	米子医学雑誌(0044-0558)65巻4-5 Page101-109(2014.09)
176	和田 健二	鳥取大学 脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【神経変性疾患への新しい視点-プリオン仮説】アルツハイマー病 ヒトでのAβ蛋白伝播(感染")と治療"	Clinical Neuroscience(0289-0585)33巻3号 Page279-281(2015.03)
177	古和 久典	鳥取大学 脳神経医科学講座脳神経内科学分野	【頭痛診療のニュー・ストリーム 新国際分類とわが国の新診療ガイドライン】慢性頭痛の診療ガイドライン2013 遺伝子	Clinical Neuroscience(0289-0585)32巻5号 Page581-584(2014.05)
178	坂本 誠	鳥取大学 脳神経外科	【最新臨床脳卒中学[下]-最新の診断と治療-】くも膜下出血 くも膜下出血後の脳血管攣縮 脳血管攣縮の発生機序	日本臨床(0047-1852)72巻増刊7 最新臨床脳卒中学(下) Page467-471(2014.10)
179	中野 俊也	鳥取大学 脳神経外科	【頭痛診療のニュー・ストリーム 新国際分類とわが国の新診療ガイドライン】国際頭痛分類第3版β版(ICHD-3β) 非血管性頭蓋内疾患による頭痛(Appendix)	Clinical Neuroscience(0289-0585)32巻5号 Page544-545(2014.05)
180	坂本 誠	鳥取大学 脳神経外科	【頸動脈狭窄症の診断と治療】偽閉塞症例に対する頸動脈ステント留置術 周術期管理と手技上の工夫	脳卒中の外科(0914-5508)43巻2号 Page103-109(2015.03)
181	山本 一博	鳥取大学 病態情報内科	医学と医療の最前線 大動脈弁膜症と僧帽弁膜症のカテーテル治療	日本内科学会雑誌(0021-5384)103巻8号 Page1948-1955(2014.08)
182	山本 一博	鳥取大学 病態情報内科	【降圧療法とβ遮断薬】合併症のある高血圧症例のβ遮断薬 拡張不全	血圧(1340-4598)21巻9号 Page778-782(2014.09)
183	鈴木 収二	鳥取大学(皮膚科)	踵部有棘細胞癌	皮膚の科学(1347-1813)14巻1号 Page38(2015.02)
184	武中 篤	鳥取大学医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	前立腺癌に対する検診と先進的外科治療	山口県医学会誌(0289-6575)49号 Page19-30(2015.03)

小計13

185	藤田 章啓	鳥取大学医学部附属病院	手・前腕における非定型抗酸菌症の治療経験	日本手外科学会雑誌(2185-4092)31巻3号 Page283-286(2014.12)
186	佐竹 隆宏	鳥取大学医学部附属病院	【うつ病の理解のために】子どものうつ病	心と社会(0023-2807)45巻4号 Page21-25(2014.12)
187	岡本 幹三	鳥取大学医学部附属病院がんセンター	鳥取県がん登録の歴史と現状および課題	JACR Monograph(2189-0579)20号 Page172-176(2014.11)
188	尾崎 まり	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	【整形外科領域における集学的診療体制の構築】集学的な観点からの骨粗鬆症治療の取り組み	整形・災害外科(0387-4095)58巻3号 Page287-291(2015.03)
189	尾崎 まり	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	【脊椎椎体骨折のトータルマネジメント】脊椎椎体骨折に対する保存的治療	Journal of Clinical Rehabilitation(0918-5259)23巻12号 Page1167-1170(2014.12)
190	萩野 浩	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	【骨粗鬆症-新たな骨粗鬆症治療薬と治療ストラテジー-】最新の骨粗鬆症治療戦略を語る	最新医学(0370-8241)69巻10号 Page1915-1927(2014.10)
191	松本 浩実	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	【運動器を評価する-現場で使える最新評価法活用術-】よく遭遇する疾患の評価法 骨粗鬆症の評価法とその活用	関節外科(0286-5394)33巻10月増刊 Page154-163(2014.10)
192	尾崎 まり	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	転倒転落予防実践プログラム 急性期病院での転倒・転落予防の実践	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526)51巻4-5
193	尾崎 まり	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部	【大腿骨近位部骨折～疫学から治療、リエゾンサービスまで～】大腿骨近位部骨折のリハビリテーション	Clinical Calcium(0917-5857)25巻4号 Page577-584(2015.03)
194	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部	【地域包括ケア時代のPACS選び　画像共有でつながる&広がる連携の輪】Showcase 画像連携が進むPACS導入事例　鳥取県医療情報ネットワーク協議会の「おしどりネット3」における画像共有	INNERVISION(0913-8919)30巻2付録 Page50-52(2015.01)
195	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部	世界標準XDS/XDS-Iを用いた地域医療連携システムの構築	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)10巻2号 Page178-181(2014.09)
196	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部	【スマートデバイスを用いた病院情報システムから地域医療管理まで】大学病院におけるシンクライアントを用いた病院情報システム	臨床画像(0911-1069)30巻9号 Page992-1004(2014.09)
197	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部	【膨大化する画像情報への具体的対応策】今必要とされる方策は何か　医用画像の膨大化に対して施設側はいかなるシステムを構築すべきか	新医療(0910-7991)41巻8号 Page24-27(2014.08)

小計13

198	加藤 順	鳥取大学医学部附属病院 機能病態内科学	肝細胞癌門脈腫瘍塞栓に対する放射線化学療法の脾腫への影響	島根医学(0559-829X)34巻4号 Page200-207(2014.12)
199	中本 有史	鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター	【ここまでやれば◎人工呼吸管理の合格点 一般病棟でも・ベテランがいなくても・年に数回しか使わなくても これでOKな100ポイント】みんなが共有しておく 回路の交換 人工呼吸器回路の交換が適切に行える	ナーシング(0389-8326)35巻1号 Page45-49(2014.12)
200	中山 敏	鳥取大学医学部附属病院 形成外科	血管柄付き腓骨を用いた上下顎再建 インプラント義歯にどんなメリットがあるのか	頭頸部癌(1349-5747)40巻1号 Page28-33(2014.04)
201	中山 敏	鳥取大学医学部附属病院 形成外科	【移植皮弁の選択 私のファーストチョイス-頭頸部に用いる皮弁-】腓骨による上顎再建のコツ	日本マイクロサージャリー学会会誌(0916-4936)27巻4号 Page110-116(2014.12)
202	荻野 和秀	鳥取大学医学部附属病院 検査部	高尿酸血症と心血管障害(第3回) 高尿酸血症と心不全	高尿酸血症と痛風(0919-5491)23巻1号 Page77-83(2015.03)
203	原田 智也	鳥取大学医学部附属病院 呼吸器・膠原病内科	Aspergillus terreusによる慢性壊死性肺アスペルギルス症の1例	呼吸(0286-9314)33巻4号 Page398-401(2014.04)
204	北浦 剛	鳥取大学医学部附属病院 呼吸器・膠原病内科	再生不良性貧血患者に生じたAspergillus viridinutansによる肺膿瘍の1例	感染症学雑誌(0387-5911)88巻6号 Page855-860(2014.11)
205	中川 奈保子	鳥取大学医学部附属病院 次世代高度医療推進センター	遺伝医療のための基盤づくりを目指して 認定遺伝カウンセラーの取り組み 鳥取大学医学部附属病院の認定遺伝カウンセラー 地域住民が遺伝に親しむための環境作りの取組み	日本遺伝カウンセリング学会誌(1347-9628)35巻3号 Page95-98(2014.10)
206	谷口 雄司	鳥取大学医学部附属病院 手術部	【呼吸器外科の手術看護パーフェクトマニュアル】(第2章)実践編 術式別の術中看護マニュアル ロボット支援下手術	オペナーシング(0913-5014)2015臨時増刊 呼吸器外科の手術看護パーフェクトマニュアル
207	倉敷 達之	鳥取大学医学部附属病院 手術部	【麻酔科医と先輩ナースが教える!新人ナースのための麻酔看護誰でも使える"王道マニュアル】気管挿管時"	オペナーシング(0913-5014)29巻6号 Page515-524(2014.06)
208	野口 雄史	鳥取大学医学部附属病院 小児科	ホントに必要?おたふくかぜワクチン	小児感染免疫(0917-4931)26巻4号 Page509-516(2015.02)
209	松下 博亮	鳥取大学医学部附属病院 小児科	【新人スタッフのためのはやわかり講座 イラストで学ぶ新生児の病態生理ビジュアルノート 循環器編】心雑音で発見されやすい心疾患	Neonatal Care(1341-4577)27巻5号 Page426-432(2014.05)
210	松村 博史	鳥取大学医学部附属病院 精神科	【うつ病の理解のために】うつ病概念の混乱	心と社会(0023-2807)45巻4号 Page14-20(2014.12)

小計13

211	福本 陽二	鳥取大学医学部附属病院第一外科	S状結腸憩室炎による腫瘤形成にて腸閉塞をきたした1例	米子医学雑誌(0044-0558)65巻3号 Page84-88(2014.05)
212	山崎 章	鳥取大学医学部附属病院第三内科診療科群(呼吸器内科・膠原病内科)	【高IgE血症を伴う難治疾患:基礎と臨床】アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	臨床免疫・アレルギー科(1881-1930)63巻3号 Page232-238(2015.03)
213	中西 理沙	鳥取大学医学部附属病院内分泌代謝内科	【糖尿病治療の経口薬up to date】第一選択薬は なぜこの薬剤から開始する? α-グルコシダーゼ阻害薬	月刊糖尿病7巻2号 Page6-10(2015.02)
214	森山 直樹	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	診断に難渋した妊娠を契機とした血栓性血小板減少性紫斑病の一例	日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)21巻5号 Page525-526(2014.09)
215	北川 良憲	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医と先輩ナースが教える!新人ナースのための麻酔看護誰でも使える"王道マニュアル】抜管～退室時"	オペナーシング(0913-5014)29巻6号 Page534-540(2014.06)
216	藤井 勇雄	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医と先輩ナースが教える!新人ナースのための麻酔看護誰でも使える"王道マニュアル】麻酔導入時"	オペナーシング(0913-5014)29巻6号 Page502-514(2014.06)

計216

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3　「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	㊒・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	㊒・無
・手順書の主な内容 1. 目的 2. 組織 3. 運営 4. 審査資料 5. 審査手順 6. 記録の保管・公表　等	
③　倫理審査委員会の開催状況	年9回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	㊒・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	㊒・無

規定の主な内容

（目的）

鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反（以下「利益相反」という。）が探刻な事態へと発展することを未然に防止するため，臨床研究に係る利益相反の適切な管理（以下「利益相反マネジメント」という。）に関し必要な事項を定め，もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。

（利益相反マネジメントの対象及び基準）

利益相反マネジメントの対象者は，次に掲げる者

一　臨床研究実施者等

二　臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の扶養親族

三　その他審査委員会が必要と判断した者

開示対象とする事項

一　経済的利益

二　経営関与

利益相反マネジメントは，臨床研究を実施するに当たり，被験者及び社会に対し，教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。

（臨床研究実施者等の責務）

利益相反の発生が懸念される場合は，この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか，透明性，公正性の確保に自ら努める。

（臨床研究利益相反審査委員会の業務等）

一　利益相反の防止に関すること。

二　利益相反に係る調査及び審査に関すること。

三　利益相反方針に関すること。 四　その他利益相反マネジメントに関すること。 （委員会組織） 一　医学部倫理審査委員会委員長 二　医学部附属病院治験審査委員会委員長 三　医学部長が指名する教員　若干人 四　その他審査委員会が必要と認めた者（外部委員含む。）　若干人 ただし，委員の氏名は，公表しない。 その他、（利益相反マネジメントの手続き）、（緊急審査）、（審査委員会の公正性の確保）等を規定している。	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年14回

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
・研修の主な内容 1. 各種手順書の施行 2. 臨床研究不祥事とその原因 3. 利益相反の管理、申告手順 4. 他施設の臨床研究への取り組み 5. 新倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の概要 6. 鳥取大学における4月1日以降の臨床研究実施手順	

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

・子宮内膜症合併不妊に対する腹腔鏡下手術・体腔鏡下腎摘術・ボツリヌス毒素の膀胱内注入・非小細胞肺癌に対するWeekly・Paclitaxel の有用性に関する検討・複雑系理論を応用した睡眠時無呼吸障害患者の診断遺伝子産物抗体測定による肺癌診断・ras rho5p3遺伝子PCRによる癌性胸膜炎診断・音声再建・睡眠時無呼吸治療・急速減感作療法・再建外科を含む頭頸部腫瘍の治療・小児の難治性疾患に対する診断と治療に関する手技を研修・経動脈性門脈造影下ＣＴ、アンギオＣＴの手技及び診断・ＩＶＨ・上部消化管内視鏡・上部消化管造影・小児難治性疾患に対する診断・上室ならびに心室性頻拍症に対する高周波カテーテル焼却術・エキシマレーザーによる治療的レーザー角膜切除術（ＰＴＫ）・マイクロケラトームを用いた角膜移植術・ｒｅａｌ－ｔｉｍｅ ＰＣＲを用いたヘルペス性眼疾患診断・肺動脈カテーテル挿入術・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術・近赤外線スペクトロスコピー（ＮＩＲＳ）を用いたうつ状態の鑑別・統合失調症に対する認知リハビリテーション・心臓再同期療法・心臓リハビリテーション・臨床心臓電気生理学的検査・難治性円形脱毛症に対するステロイドパルス療法・天疱瘡に対するＩＶＩＧ療法・ステンドグラフトワークショップ・がんのリハビリテーション・熱傷手術・ロボット支援膀胱全摘術

2　研修の実績

研修医の人数	５６　人

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本一博	循環器内科／内分泌代謝内科	主任診療科長	２９年	
磯本一	消化器内科／腎臓内科	主任診療科長	２６年	
清水英治	呼吸器内科／膠原病内科	主任診療科長	３７年	
兼子幸一	精神科	診療科長	３０年	
神崎晋	小児科	診療科長	３６年	
池口正英	消化器外科／小児外科	主任診療科長	３５年	
西村元延	心臓血管外科	診療科長	３２年	
中村廣繁	胸部外科／乳腺内分泌外科	主任診療科長	３１年	
永島英樹	整形外科／リウマチ科	診療科長	２７年	
山元修	皮膚科	診療科長	３３年	
武中篤	泌尿器科	診療科長	２９年	
井上幸次	眼科	診療科長	３４年	
竹内裕美	耳鼻咽喉科／頭頸部外科	主任診療科長	３５年	
小川敏英	放射線科／放射線治療科	主任診療科長	３６年	
原田省	産婦人科	主任診療科長	３２年	

稲　垣　喜　三	麻酔科	主任診療科長	３４年	
領　家　和　男	歯科口腔外科	診療科長	４０年	
長谷川　純　一	薬物療法内科	診療科長	３６年	
八　木　俊路朗	形成外科	診療科長	１６年	
本　間　正　人	救急科	診療科長	２７年	
本　倉　　徹	血液内科	診療科長	３３年	
中　島　健　二	神経内科	診療科長	３８年	
渡　辺　高　志	脳神経外科	診療科長	３９年	
前　垣　義　弘	脳神経小児科	診療科長	２７年	
難　波　栄　二	遺伝子診療科	診療科長	３４年	
梅　北　善　久	病理診断科／神経病理診断科	主任診療科長	２８年	
千　酌　浩　樹	感染症内科	診療科長	２７年	

（注）１　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）２　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
「ホスピタリティ研修（初任者向け）」 ・研修の主な内容　ホスピタリティを合宿による体験学習から学び、資質の向上を図る ・研修の期間・実施回数　平成26年4月8日～4月9日・2日間 ・研修の参加人数　95名 「接遇研修（全職員向け）」 ・研修の主な内容　コミュニケーション能力を高めるコツを学び、患者との信頼関係の確保向上を図る ・研修の期間・実施回数　平成27年2月5日・1回 ・研修の参加人数　197名
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
「事務職員マネジメント研修」 ・研修の主な内容　管理職から中堅・若手職員へ伝えたいことや助言などを中心とした内容のリレー講演会を行い、意識改革やスキルの向上を図る ・研修の期間・実施回数　平成26年9月～平成27年2月・6回 ・研修の参加人数　延べ247名 「個人情報保護に関する研修会」 ・研修の主な内容　個人情報の定義と対応、情報漏えいの背景と対応 ・研修の期間・実施回数　１回 ・研修の参加人数　480人 「情報セキュリティ研修会」 ・研修の主な内容　個人情報の取扱い、情報セキュリティ対策

・研修の期間・実施回数　5回 ・研修の参加人数　　138人
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1　高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第５）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　②現状
管理責任者氏名	病院長　清水　英治
管理担当者氏名	事務部次長　源　憲治、医療サービス課長　鬼村　博幸

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			総務課 医療情報部 薬剤部 各診療科	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管） 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務課	
	高度の医療の提供の実績		医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		経営企画課	
	高度の医療の研修の実績		総務課 医療サービス課	
	閲覧実績		総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医療サービス課 薬剤部	
	第規一則号第に一掲条げの る十体一制第の一確項保各の号状及況び第九条の二	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課 医療サービス課	

	十第一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 ＭＥセンター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ＭＥセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ＭＥセンター 医療安全管理部	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　(2．現状)	
閲覧責任者氏名	病院長　清水英治	
閲覧担当者氏名	事務部次長　源　憲治、医療サービス課長　鬼村博幸	
閲覧の求めに応じる場所	相談室	

閲覧の手続の概要

① 情報公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。

② 大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。

③ 請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。

④ 開示（閲覧）を実施する。

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　　0件
閲覧者別	医師	延　　0件
	歯科医師	延　　0件
	国	延　　0件
	地方公共団体	延　　0件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

（様式第６）

規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： （１）安全管理に関する基本的考え方 （２）安全管理のための組織に関する基本的事項 （３）医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 （４）医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 （５）医療事故発生時の対応に関する基本方針 （６）本院における医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 （７）患者等からの相談への対応に関する基本方針 （８）その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年１２回
・ 活動の主な内容： ・医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。 （審議事項） ・医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年７７回
・ 研修の主な内容： ① 職員全体研修会：暴言暴力から身を守るために（２回） ② 職員全体研修会：薬害被害の経験から～薬害エイズの教訓～ ③ 医療安全取り組み報告研修会（１０回） ④医療安全出前研修会（３３回） ⑤ＤＶＤ視聴研修会（８回） ⑥部署別ＤＶＤ研修会 ⑦Ｅラーニング研修会（２回） ⑧病院情報システム操作研修会（１２回） ⑨新採用・中途採用オリエンテーション・研修会（８回）	

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（ (有)・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： （報告の分析） １．医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容、②原因と要因、③改善策、④患者影響レベル、⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。 ２．１を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。 （検討方法） １．医療安全管理者を中心に、院内リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。 ２．ＧＲＭは毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長会議・リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議で報告し検討している。 ３．事例によっては、クオリティ審査専門委員会・医療事故調査委員会で審査を行う。

⑤　専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)（　１名）・無
⑥　専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（　１名）・無
⑦　医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無

・　所属職員：　専任（　１　）名　兼任（　１１　）名
・　活動の主な内容：

・医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録等の作成及び保存に関すること
・医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営に関すること
・医療事故に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと
・患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと
・医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと
・医療安全に係る連絡調整に関すること
・その他本院における医療安全対策の推進に関すること

⑧　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

（様式第６）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １．院内感染対策に関する基本的考え方 ２．感染管理組織に関する基本的事項 ３．院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 ４．感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ５．院内感染発生時の対応に関する基本方針 ６．患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針 ７．院内感染対策推進のために必要な基本方針 ８．職業感染防止のための基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回
・　活動の主な内容： 以下の事項について審議する １．感染予防の対策に関すること ２．感染予防対策実施の監視及び指導に関すること ３．感染予防に係る情報の収集に関すること ４．感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること ５．その他感染予防に関すること	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年７８回
・　研修の主な内容： ・職員全体研修会（４回） 結核の基礎知識と感染対策 個人防護具着脱実技演習 多剤耐性菌対策と接触予防策 感染対策リンクナース会活動報告 ・第二種感染症指定医療機関としての対応シミュレーション（２回） ・アウトブレイク対応研修会（４回） ・e-ラーニング研修会（１回） ・研修医・看護師・看護助手研修（１７回） ・安全機構付きペン型インスリン針導入説明会（１１回） ・新採用者研修（１９回） 感染管理組織、マニュアル、標準予防策、手指衛生、個人防護具、針刺し・血液曝露対策と曝露後対応 ・新採用者出前研修（１１回） ・感染対策コース研修、静脈注射院内認定研修（８回） ・院内感染対策のポイント研修（１回）	

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・　病院における発生状況の報告等の整備　　（ 有・無 ）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

・感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・ＭＲＳＡ感染症治療薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討
・病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導
・サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応
・感染制御部メンバーによる定期ミーティング

（様式第 6）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年５９回

・ 研修の主な内容：

① 職員全体研修会：薬害被害の経験から～薬害エイズの教訓～（1回）
② 医療安全取り組み報告研修会：与薬指示簿の導入に向けて（１回）
③ 医療安全取り組み報告研修会：内服薬インシデント減少に向けた取り組み（１回）
④ インスリン療法研修会（基礎知識・血糖測定）（４回）
⑤ 静脈注射院内認定看護師育成研修会（１回）
⑥ ＤＶＤ視聴研修会（４回）
⑦ 医療安全出前研修会（３３回）
⑧病棟等への出張研修（１４回）

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成 （(有)・無 ）
・ 業務の主な内容：

・医薬品の採用・購入に関する事項
・医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等）
・患者の持参薬歴情報等の収集方法，処方せんの記載方法
・患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
・医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項
・他施設（病院等，薬局等）との連携に関する事項

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （(有)・無 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：

（情報収集の方法）
・医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集
・病院で発生する副作用・感染症情報の把握
・厚生労働省，医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等）
（情報の周知方法）
緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る
・新採用者または全職員を対象に開催する研修会
・書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供
・医師等の個人に直接情報提供

（様式第６）

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年４７回

・　研修の主な内容：

対象：輸液ポンプ・シリンジポンプ、モニタ、除細動器、アンビュ、人工呼吸器、保育器、透析濾過装置、血液浄化装置、人工心肺装置、ＰＣＰＳ、ＩＡＢＰ、高気圧酸素治療装置、その他

内容：準備方法等、使用方法や主な観察点、注意点、安全情報で特に重要なもの、院内のインシデントレポートを参考にした注意点について実施

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　計画の策定　　（(有)・無　）
・　保守点検の主な内容：

・ＭＥセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用後点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。
・現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、ＭＥセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。
・保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたＭＥが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。
・精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。

④　医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

（情報収集の方法）
医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書を整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はすべてMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求め、医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内へ周知する。また、これら不都合情報のうち適正かつ安全な医療遂行に支障を来すような内容については病院長に報告し、厚生労働省への報告を検討する。

（情報の周知方法）
医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い周知を図っている。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有)・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名　：　公益財団法人　日本医療機能評価機構 評価を受けた時期　　：　２０１５年１月５日	

（注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院の最新情報及び地域からのニーズ、また旬な情報を発信している。 ・ホームページ　　随時更新 ・広報誌　　医療情報誌「ささら」　年２回発行 とりだい病院ニュース　年４回発行 ・新聞　　特集　年２回掲載 ・ケーブルテレビ　毎月放送 ・院内セミナー　　健康ミニ講座　月２回開催 ・院外セミナー　　年３回開催	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

本院では、低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている、

また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、

・褥瘡対策チーム、・緩和ケアチーム、・糖尿病医療支援チーム、・栄養サポートチーム、・感染対策チーム、・転倒・転落予防チーム、・生殖医療チーム、・呼吸サポートチーム

など、多職種が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。